

# 正念寺だより

2013年  
4月22日発行  
NO、161



名古屋城



## みてびげいる

名古屋別院の境内に「みてござる」の石碑がありました。別院の報恩講の布教を五十年にわたって勤められた、豊橋市の宮部円成師の座右の銘であったとして、昭和十二年に建てられたものです。

子供の頃祖母から「ほとけさんがみてござる」「おてんとうさんがみてござる」と言われたことを思い出します。私たちの行いは必ず誰かに見られているから「悪いことをしたらあかん」というしつけの意味がありました。それと同時に、苦悩に嘆き悲しむ姿や、人知れずコツコツと努力している姿も、仏さまはごらんになっておられます。

御和讃に「撰取して捨てざれば 阿弥陀と名づけたてまつる」と親鸞聖人は詠まれました。人生順調なときも逆境に立たされているときも、かたときとも私から離れることなく、おさめ取って、見捨てることのないはたらき、大いなるいのちの世界をアマダというのです。

この私をいつも「みてござる」方がおられるところに「安心」がえられます。

## 劇団「わらび座」 ミュージカル『ブッダ』と お食事会のご案内

とき 5月17日(金)

午後2時 開演

会場 シアターBRAVA!

お食事 松下MPビル26階

パノラマスカイレストラン

展望は最高「城見」の部屋を予約

参加費 ミュージカルのみは

8,000円

食事付き

12,000円

申し込みは5月10日締め切り。

お誘い合わせ多数のご参加をお待ちしております。



## 真宗大谷派・名古屋別院に参拝

4月13日(土)正念寺参拝バス旅行で名古屋に行ってきました。大谷派の名古屋別院・徳川園・名古屋城・熱田神宮。名古屋城では「もてなし武将隊」の演舞ショーがあり、何重にも人垣ができる人気ぶりでした。

快晴の名古屋を満喫できました。

